

平成 18 年 6 月 9 日

各 位

会 社 名 常 磐 興 産 株 式 会 社
 代 表 者 名 取 締 役 社 長 齋 藤 一 彦
 コ ー ド 番 号 9 6 7 5 東 証 1 部
 問 い 合 わ せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 秋 田 龍 生
 問 い 合 わ せ 先 電 話 番 号 0 3 - 3 6 6 3 - 3 4 1 1

「平成 18 年 5 月 度 月 次 売 上 概 況 (速 報)」 についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとする利害関係者の方々により正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリーディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期 5 月 度 月 次 売 上 概 況 (速 報) をお知らせいたします。

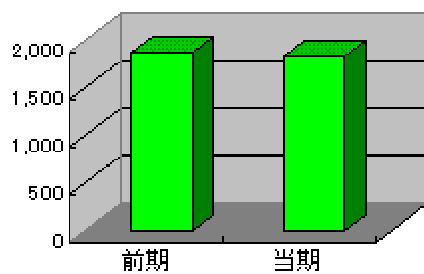
記

◇売上高 (単体)

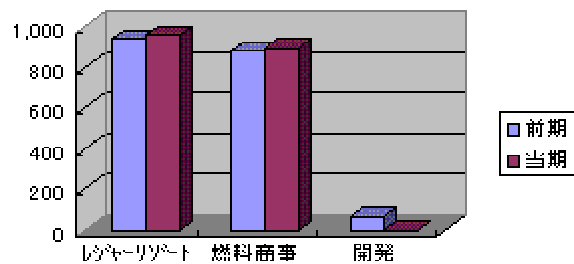
(単位：百万円)

区 分	5 月 度		当 期 累 計	
	自)平成18年5月1日 至)平成18年5月31日		自)平成18年4月1日 至)平成18年5月31日	
	当 期	前 年 同 期 比	当 期	前 年 同 期 比
レジャーリゾート事業部門	957	102.1%	1,799	100.4%
スパリゾートハワイアンズ	816	103.5%	1,522	100.9%
ホテルクレスト札幌	36	109.6%	65	111.1%
クレストヒルズゴルフ倶楽部	77	91.8%	154	95.4%
山海館※1	29	88.1%	58	90.4%
燃料商事事業部門	893	101.4%	2,426	130.0%
小 計	1,850	101.8%	4,225	116.5%
開発事業部門 ※2	—	—	—	—
合 計	1,850	98.2%	4,225	106.0%

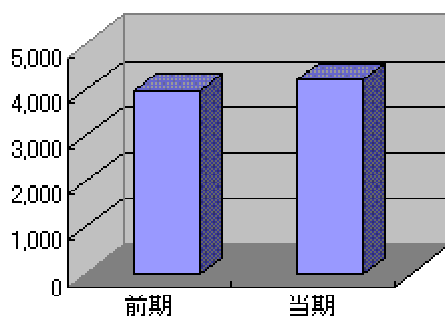
5月度売上高(全社)



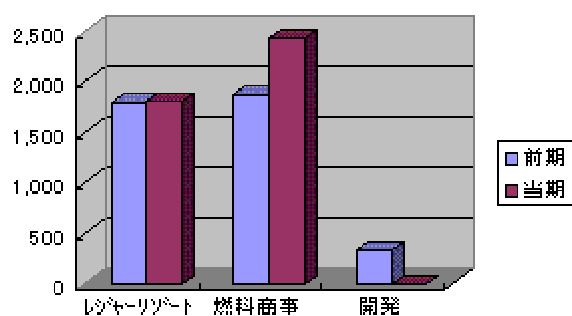
5月度売上高(事業部門別)



当期累計売上高(全社)



当期累計売上高(事業部門別)



◇利用人員（レジャーリゾート事業部門）

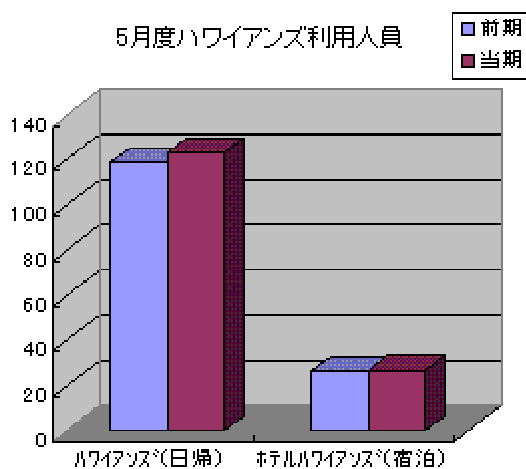
（単位：千人）

区 分	期 別	5 月 度		当 期 累 計	
		当 期	前 年 同 期 比	当 期	前 年 同 期 比
ハワイアンズ（日帰）		123	103.6%	222	102.4%
ホテルハワイアンズ（宿泊）		27	101.8%	55	99.3%
ホテルクレスト札幌		4	107.2%	8	112.9%
クレストヒルズゴルフ倶楽部		5	81.7%	9	84.7%
山海館※1（宿泊）		1	85.6%	2	88.2%

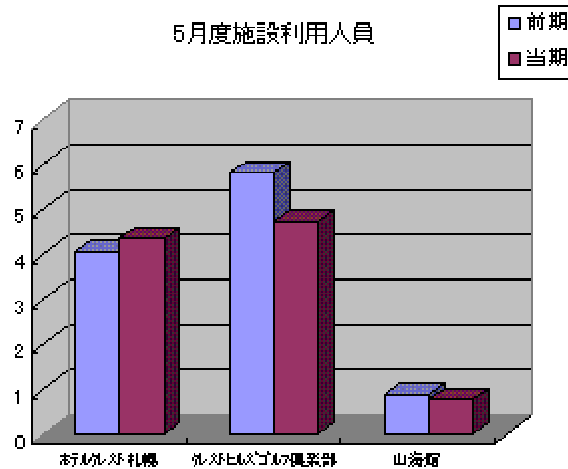
※1 株式会社山海館は、平成 17 年 5 月 1 日に当社と合併いたしました。前年同期比較（累計）には、前年 4 月の売上高、宿泊者数を含めた数値を用いております。

※2 開発事業部門は、平成 18 年 2 月 1 日に会社分割いたしました。

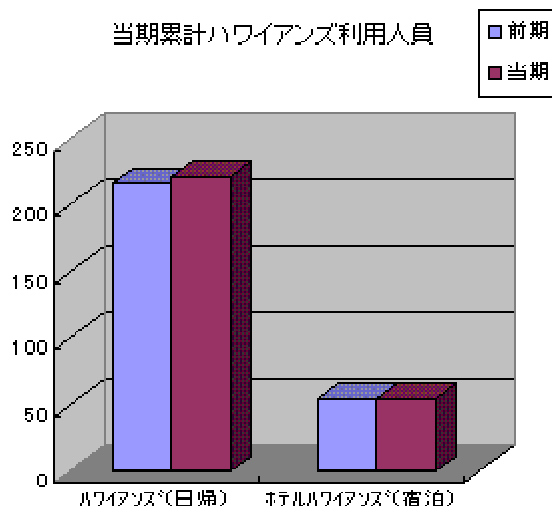
5月度ハワイアンズ利用人員



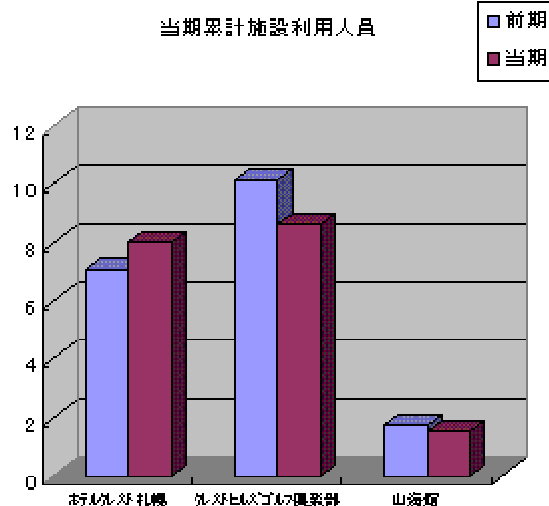
5月度施設利用人員



当期累計ハワイアンズ利用人員



当期累計施設利用人員



◇コメント：平成18年5月度売上高について

レジャーリゾート事業部門につきましては、ハワイアンズ（日帰）は、ゴールデンウィーク5連休に恵まれレジャー動向が好調に推移し、テレビCMやパブリシティ等の効果により首都圏からの集客が増加するとともに、地元イベントも好評を博し、123千人（前年同期比103.6%）となりました。ホテルハワイアンズ（宿泊）は、ゴールデンウィーク期間の利用者数増により、27千人（前年同期比101.8%）となりました。クレストヒルズゴルフ倶楽部は、地元圏の大型コンペの利用月の遅れ、宿泊ゴルフパックの新規開拓が進まず利用人員が減少いたしました。ホテルクレスト札幌は、観光目的の道外客が増加したことに伴い、利用人員・売上ともに増加いたしました。この結果当部門の売上高は、957百万円（前年同期比102.1%）となりました。

燃料商事事業部門におきましては、石油部門で販売数量が減少したものの、石炭部門において販売数量が増加したことにより、売上高は893百万円（前年同期比101.4%）となりました。

以上により、全体の売上高は1,850百万円（前年同期比98.2%）となりました。

※注 速報数値については、確定数値ではありませんので、若干変動する場合があります。

以 上